

## モニタリング結果報告書

施設 地球市民かながわプラザ

指定管理者 (財)かながわ国際交流財団

施設所管課 県民部国際課

(平成21年度 上半期)

## 管理運営状況総括

## 1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考(確認事項等)
4月	5月8日	5月18日	改善すべき業務等なし
5月	6月10日	6月19日	改善すべき業務等なし
6月	7月10日	7月17日	改善すべき業務等なし
7月	8月7日	8月17日	改善すべき業務等なし
8月	9月10日	9月24日	改善すべき業務等なし
9月	10月10日	10月20日	改善すべき業務等なし 施設利用者数が前年同期を下回っているため、利用促進に向けた取組みを進めるよう通知

## 2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

## (1) 提案内容の達成度

A: 提案を上回る  B: 提案どおり  C: 提案を下回る

## (2) 実施状況等

指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績を記載する。

## &lt;提案内容の概要&gt;

地球市民意識の醸成と多文化共生社会を築くための総合的学習施設として、プラザの持つ施設資源を最大限に活かし、一般来館者、教育関係者、外国籍県民と異なる対象層に最も適した方法で学習機会を提供することなど、施設の効用を高めるため、バランスよく安定的な事業の展開を具体的に提案した。

- ①世界の多様な文化や地球的規模の課題に対する子どもの理解を深めるため、小学校、中学校、高等学校、幼稚園から校外学習を受け入れるとともに、民族衣装の試着や民族楽器の演奏体験など、世界の文化や暮らしを実感してもらおうワールド・カルチャー・デイを毎月実施するなど、プラザの施設特性や学習資源を活用した学習機会を提供する。
- ②プラザの設置目的を踏まえ、地球規模の課題や多文化共生・異文化理解などをテーマに、企画展を実施し、プラザの学習センター機能を充実させる。
- ③外国籍県民の生活支援の観点から、多言語資料を活用し、外国籍県民の相談体制を整備する。

## &lt;実施状況&gt;

- ①4月～9月 校外学習受入数 55校  
ワールド・カルチャー・デイ(各月のテーマ:4月中近東、5月中国、6月アフリカ、7月ヨーロッパ、8月バングラデシュ、9月ネパール、韓国・朝鮮)  
プラザ利用者数 138,911名
- ②8月1日～30日 「世界の自転車タクシー展」 来場者数 4,826名  
アジアの自転車タクシー実物展示、試乗体験、県内在住の外国籍県民と協働して各国の文化を紹介
- ③4月～9月 外国人教育相談事業を実施 相談件数 304件  
相談日 週3日、対応言語 中国語、スペイン語、タガログ語、日本語

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	321,295	321,295	0	321,295	0
上半期計 (a)	158,217	158,217	( 0)	146,763	11,453
下半期計 (b)			( )		
4月	25,402	25,402	( 0)	23,172	2,229
5月	24,053	24,053	( 0)	22,071	1,981
6月	38,034	38,034	( 0)	35,335	2,698
7月	23,578	23,578	( 0)	23,561	16
8月	23,576	23,576	( 0)	20,689	2,886
9月	23,574	23,574	( 0)	21,934	1,639
合計 (a+b)	158,217	158,217	0	146,763	11,453

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。  
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

なし

（今期に行った資本的な収入及び支出等の状況）

	内容	金額(千円)
収入の状況	なし	
支出の状況	なし	
積立等の状況	なし	(期首) (期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。  
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。  
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

#### 4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	138,911 人	156,130 人	△11.0%
下半期計 (b)	人	人	%
4月	18,424 人	18,561 人	△0.7%
5月	30,184 人	28,604 人	5.5%
6月	18,280 人	19,350 人	△5.5%
7月	25,656 人	27,283 人	△6.0%
8月	27,961 人	41,133 人	△32.0%
9月	18,406 人	21,199 人	△13.2%
合計(a+b)	138,911 人	156,130 人	△11.0%

#### 利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

前年8月の利用者数には、韓国で開催した国際児童画展特別展の来場者15,000人が含まれていることが影響して、上半期の前年対比増減比率が減少した。

#### 5 苦情・要望等の状況

##### (施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
4月						0
5月						
6月						
7月					2	2
8月						
9月						0

##### (施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
4月			0
5月			0
6月			0
7月			0
8月			0
9月			0

#### 6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者へ評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

## 7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、行政システム改革推進課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	
月 日	

## 8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

## 9 上半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者	<p>平成21年度第1回目となる企画展「世界の自転車タクシー展」は、アジア6カ国の自転車タクシーとドイツ生まれのベロタクシーに加え、各国の文化を紹介するブースを設け、その国の遊びや本などを通して楽しみながら世界の文化に触れる構成とし、目標を上回る来場者数を記録した。試乗体験など展示に関連したイベントを企画し、好評であった。</p> <p>なお、新型インフルエンザ等の影響により、施設利用者数は前年に比べ減少していることから、下半期においては、校外学習の受入枠、企画展の会期日数及び子ども向け映画会の上映回数を増やすなど、利用者拡大に向けた対応を図っている。</p>
施設所管課	<p>企画展については、夏休み期間中の開催を考慮し、子どもの関心を引くように、展示内容や関連イベントに工夫を施したことは評価できる。</p> <p>その他プラザ事業面では、隔年実施のビエンナーレ国際児童展表彰式と展覧会を7月に開催しているが、海外84ヶ国1地域と県内から2万点を超える応募があり、世界の子どもたちが描いた絵画を通じて、世界の多様な文化の理解を深める機会となった。今後実施する事業についても、一層充実したものとするため工夫を加え、より多様な層に支持される事業の展開が望まれる。</p> <p>施設利用者数については、上記の指定管理者の取組みにより、利用促進につながることを期待している。</p>